

修正動議ってなあに？

委員会において議題となった議案等の説明が終了し、それに対する質疑が終了しても、その議案等に手を加えるべきであると委員が考えたら、委員は修正の動議を提出することができます。委員会における修正の動議は、委員1人でも提出することが認められています。

今回提出された修正動議の内容は？

渋沢栄一翁と埼玉県深谷市に関連した旅費や事業費 5,341,000円の削除、公園遊具等新設工事費630万円の削除、清水公園再整備基本計画策定委託料550万円の削除、清水高校通学送迎事業委託料2,402,000円の削除、地域おこし協力隊員（スポーツ支援員）採用に関わる経費3,693,000円の削除、小中学生スポーツ活動送迎事業委託料1,204,000円の削除を求める内容となっています。（削除総額2,444万円）

修正動議提出者からは、「事業の一括化、計画性を持った中での実行、計画の見直し、再協議を求めるもので、全てを否定するものではない。より良いものにしてほしいという強い願いを持って提出した」との説明がありました。

答弁 地域おこし協
援員（農業支
隊）には、実際に農作
業に従事してもらう。仕
事を把握した上で、冬場
に「でめんさん」の説明
会を開催し、人材の掘り
起こしを行っていく。

質疑 農業の労働力
確保対策事業
として、「でめんさん」
の確保は重要な課題であ
る。
地域おこし協力隊員を
活用することのだが、
どのような方法を考えて
いるか。

答弁 事業は3年間
で一旦終了し
たが、今後は普及センタ
ー等と協議しながら、農
業士の育成などにつなが
るよう検討する。

質疑 観光協会によ
る、清水公園
を拠点とした、物産販売
や町内外の観光情報を提
供する「十勝清水観光情
報ステーション」業務の
委託について、今後の委
託先や業務に変更はない
か伺う。

答弁 来場者や事業
者から出た意
見を聞いて、より良いも
のにしていく。

質疑 観光協会主催
の軽トラ市を
楽しみにしている町民が
多いが、新年度の方向性
について伺う。

答弁 趣旨はそれぞ
れ違うので、
今の段階では1つにでき
ないと思っている。本町
の食の魅力をいかに発信
していくかという観点で
将来的には考えていく。

質疑 「肉・井ま
つり」と「にん
にく肉まつり」は共通す
るところがあるので、将
来的に一本化し、町をあ
げての一大イベントにす
べきと考えるかいかか。

答弁 観光協会が清
流観光株式会
社に委託しているが、令
和2年度は個人事業者と
契約する予定。

答弁 今後は、文化、
教育、観光、
産業分野だけではなく、
幅広い範囲で構想を練っ
て事業を進めていく。

質疑 渋沢栄一翁
事業は一括して
検討しては
ないか。

答弁 学校図書館と
も連携しなが
ら、図書の更新を進めて
いく。

令和2年度予算審査特別委員会

予算のここが聞きたい

新年度予算と関連条例は、今後のまちづくりに大きく関わる重要な内容であることから、例年、議会に「予算審査特別委員会」を設置して慎重に審査しています。

令和2年度予算審査特別委員会は3月10日に設置し、正副委員長の互選を行い、3月18・19・23・24日の4日間で審査を行いました。

最終日の24日に、委員2名の連名で一般会計予算に対する**修正動議**の提出があり、委員会採決の結果、一般会計は賛成多数で**修正案可決**、その他特別会計・企業会計および関連条例は全員賛成で**原案可決**となりました。

**子ども110番
の家の協力家庭
をどう増やして
いくか**

質疑 子ども110
番の家に協力
していただけ
の家庭への
働きかけはど
うしているの
か。

答弁 昨年、広報等
を通じて制度
の周知を行い、
協力をお願い
したが、増えて
いない状況な
ので、別の働
きかけも考え
る。



**再任用制度を
運用する考えは
ないか**

質疑 職員の退職に
伴い、ベテラ
ン職員がなくな
ってき

ている。若手職員を育成
し、職場を円滑に回すた
め、再任用制度を運用す
る考えはあるか。

答弁 再任用制度
は整備して
いるが、新規採用とのバ
ランスを考え、今は運用
を考えていない。再任用
希望者がいる場合には制
度に沿った形で対応する。

**保育所へ安心安
全な食材の提供
はされるのか**

質疑 保育所の給食
業務は外部委
託されるが、地場産食材
の利用は約束されている
のか。

答弁 業者との委託
契約の仕様書
には、町内業者からの購
入と町内で生産されてい
る農畜産物の利用に努め
る旨を記載している。

**妊産婦安心出産
支援費助成事業
の内容は**

質疑 妊産婦安心出
産支援費助成
事業の内容は、妊婦検診
の交通費補助であるが、
具体的な内容は。

答弁 北海道から補
助を受けて実
施する事業で、補助基準
により、産前14回、産後
1回、出産準備1回の合
計16回分を限度に、1回
あたり往復953円の交
通費補助を行う。

**就業奨学生支援
事業をもっと
PRすべきでは
ないか**

質疑 就業奨学生支
援事業は、奨
学金を返済している新規
採用者を雇用した事業所
へ助成する制度であり、

積極的にPRすべきと考
えるかいかか。

答弁 新規採用従業
員の奨学金返
済額の2分の1（上限24
万円）を事業所に助成し、
事業所は5%程度上乗せ
して従業員に支給する制
度で、広報お知らせ版へ
の掲載や商工会・建設業
協会を通じて周知してい
るが、今後はいろいろな
場面で周知していく。

**アグリビジネス
スクールを再開
する考えは**

質疑 農業人材の育
成を図る目的
で、平成30年度まで開講
していたアグリビジネス
スクールについて、スマ
ート農業などの新たな農
業の課題や新規農業後継
者のため、農協とタイア
ップして再度実施する考
えはないか。

**図書資料を充実
させる考えはな
いか**

質疑 図書館が30周
年を迎えるに
あたり、図書資料を充実
させる考えはないか。

答弁 学校図書館と
も連携しなが
ら、図書の更新を進めて
いく。

**渋沢栄一翁関連
事業は一括して
検討しては
ないか**

質疑 渋沢栄一翁に
関連する事業
は、役場内に組織をつ
くって検討するべきでは
ないか。